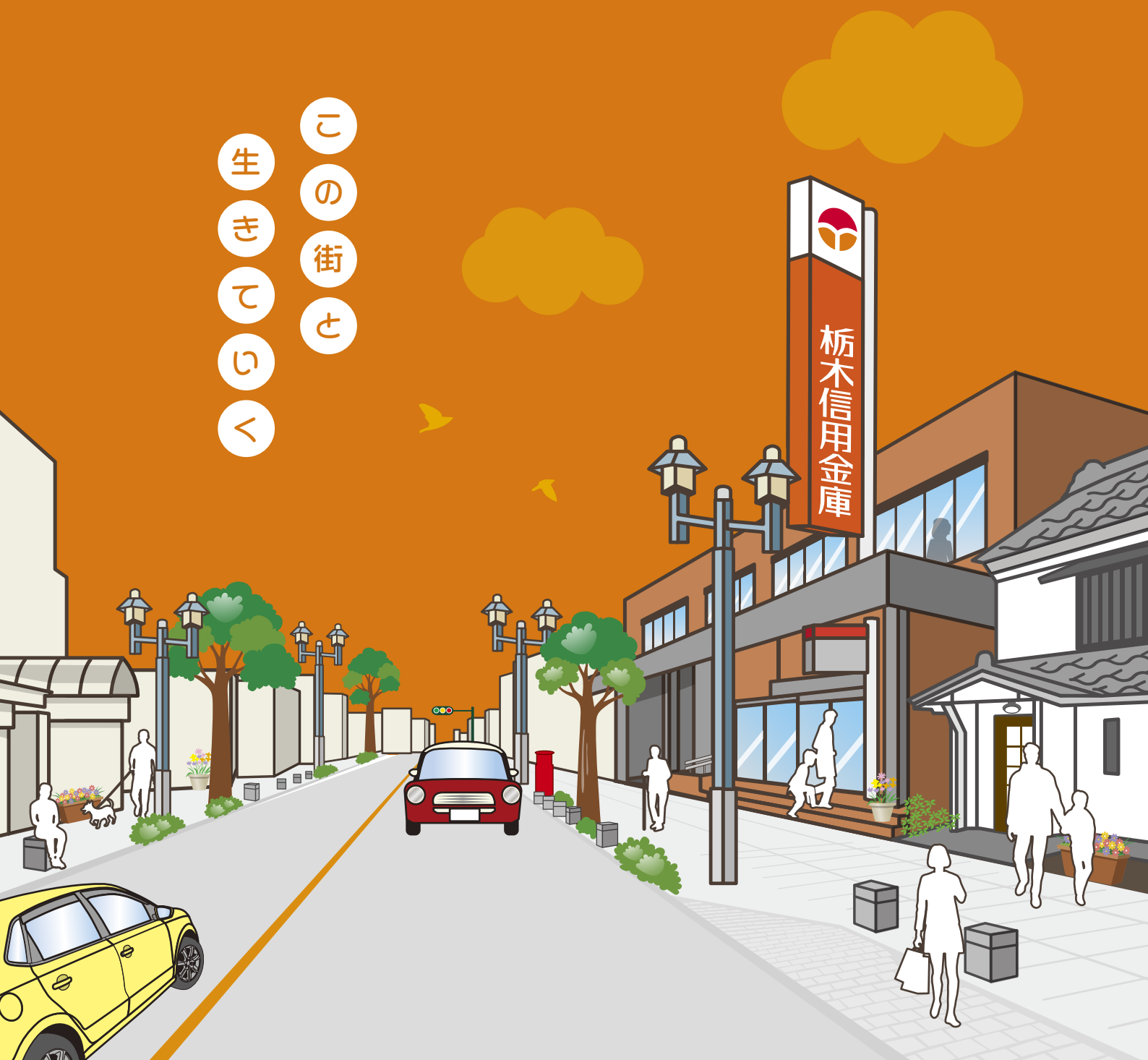


こ
の
街
と
生
き
て
い
く



2019 DISCLOSURE

令和元年度上半期の現況 9月末業況のご報告

栃木信用金庫



中期経営計画 ミッション2020



地域社会・お客さま・当金庫の未来のために、2018年度（平成30年度）から2020年度までの中期経営計画「ミッション2020」に取り組んでおります。

「Face to Face」
+
「Heart to Heart」

ミッション2020策定の背景

外部環境

- 人口減少・少子高齢化
- 事業所数の減少
- 長期に渡る大規模な金融緩和
- 金融機関の競争激化

前中期経営計画

- お客さまと身近で何でも頼める間柄構築（こたつで相談できる間柄）
- 小口融資の拡大、経営の効率化による収益力改善

進化

ミッション2020

- 信金らしい行動への特化
- 地域社会・お客さまへの貢献
- 超低金利の下でも貸出金で利益をあげられる体質への変革

ミッション2020の考え方

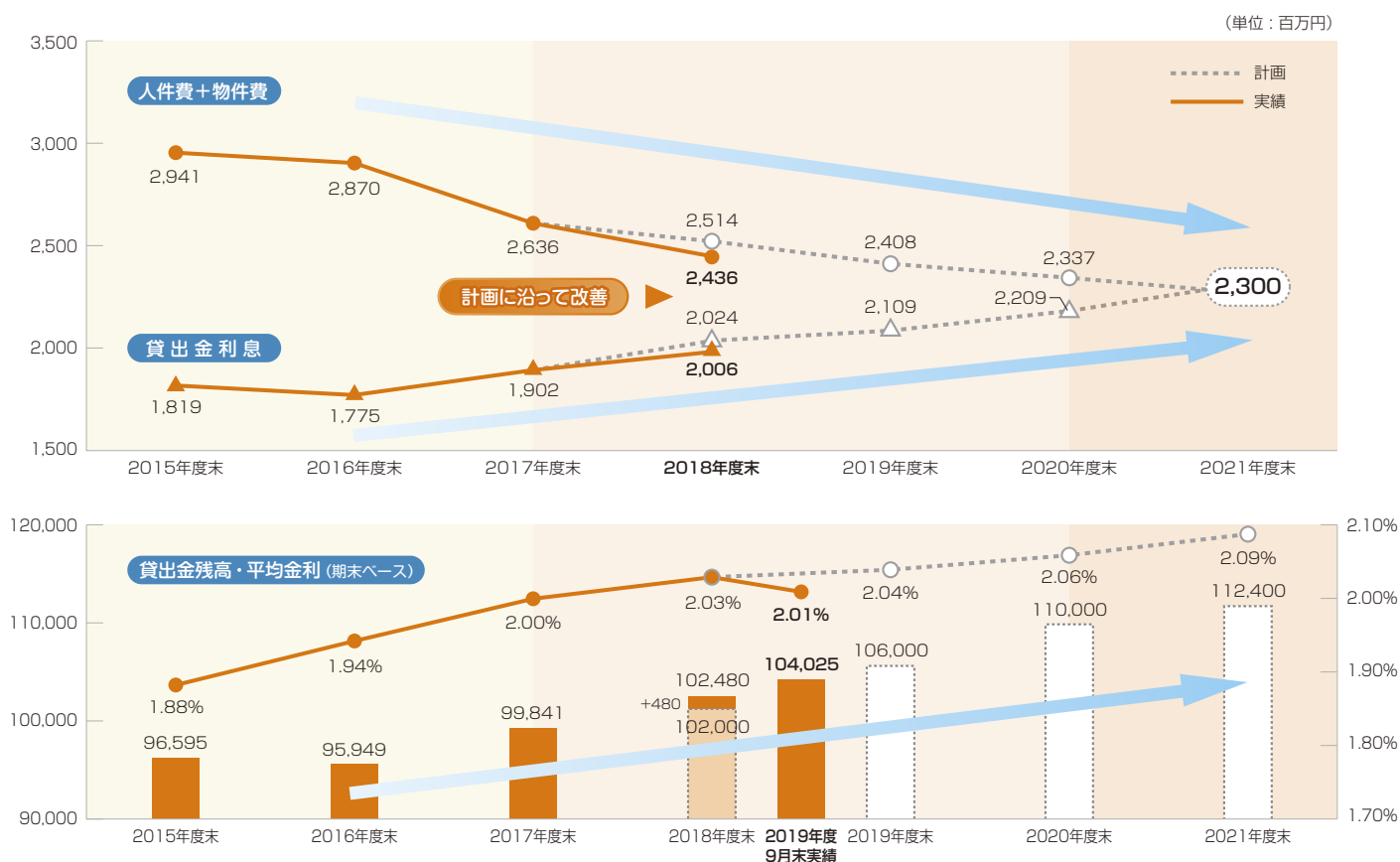
信金らしいお客さまの心をつかむ「Face to Face」+「Heart to Heart」の行動に特化し、地域社会やお客さまの期待と要望に応えることで、とちしんも成長してまいります。

ミッション2020の目標設定

最終目標(KGI) = 貸出金利息(KPI) > 人件費(KPI) + 物件費(KPI)
地域社会・お客さまの未来のために、余資運用に頼らず貸出金に特化するとともに、経営の効率化を積極的に進めることで、貸出金利息で人件費・物件費を賄える体制を構築し、強固な財務基盤を確立します。

前中期経営計画 「ROAD TO 90 STEP2」＜実績＞

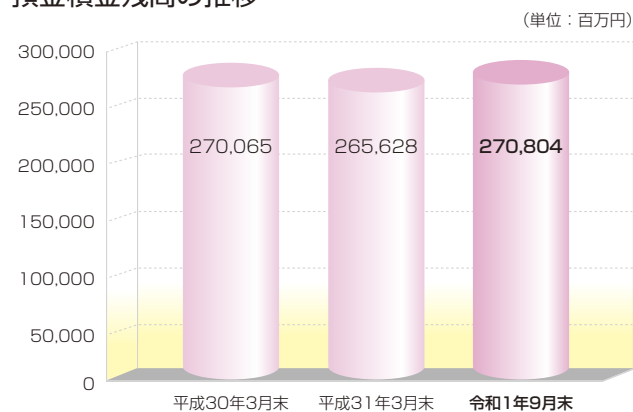
中期経営計画 「ミッション2020」



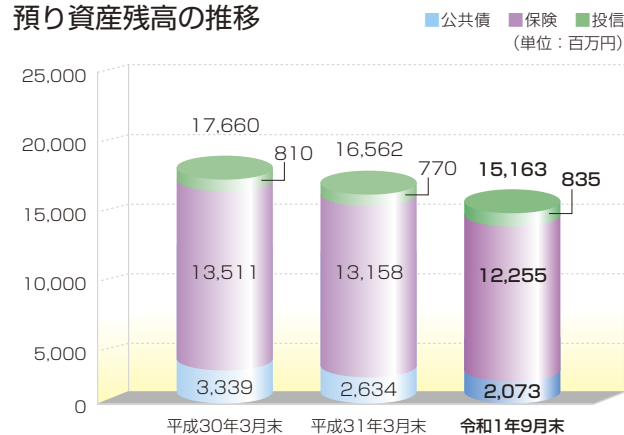
令和元年度上半期の業績の概況

令和元年度は、3ヶ年の中期経営計画「ミッション2020」の2年目にあたり、お客さまの期待と要望に応える行動や経営の効率化に向けた取組みを強化してまいりました。その結果、貸出金利息が1,021百万円で前年同期比+28百万円、経費が1,235百万円で前年同期比△37百万円となり、目標に掲げた貸出金利息の増加と経費削減が着実に進んでおります。

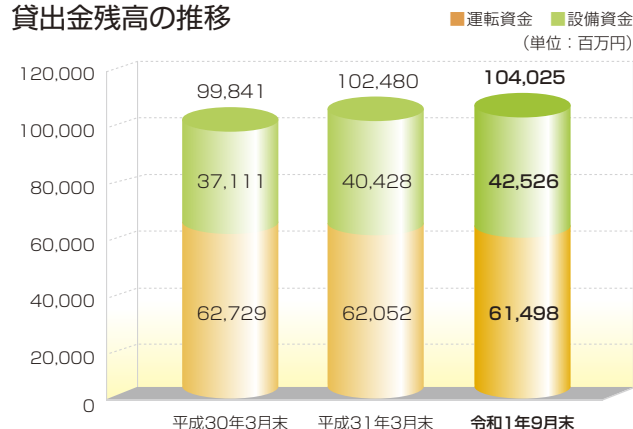
預金積金残高の推移



預り資産残高の推移



貸出金残高の推移



損益の状況

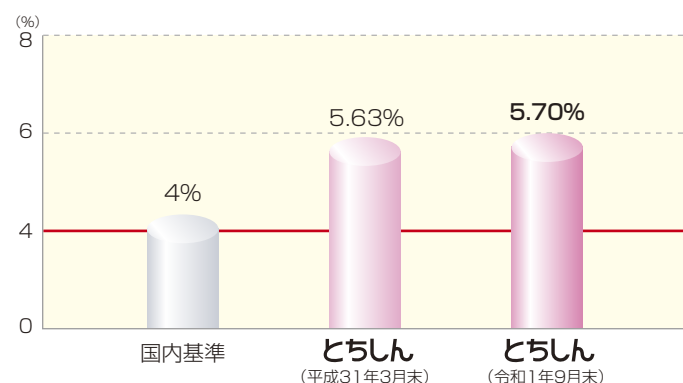
(単位：百万円)

	平成30年9月期	令和1年9月期
貸出金利息	992	1,021
経費	1,273	1,235
業務純益	△109	△93
経常利益	270	258
当期利益	255	254

自己資本比率

(単位：百万円)

項目	平成31年3月末	令和1年9月末	増減
自己資本額 (a) = (b) - (c)	4,732	4,848	116
コア資本に係る基礎項目の額 (b)	4,789	4,884	95
コア資本に係る調整項目の額 (c)	56	35	△21
リスク・アセット等計 (d)	83,921	85,053	1,131
信用リスク・アセットの額の合計額	79,042	80,174	1,131
オペレーショナルリスク相当額÷8%	4,879	4,879	—
信用リスク・アセット調整額	—	—	—
オペレーショナルリスク相当額調整額	—	—	—
自己資本比率 (a/d)	5.63%	5.70%	0.07%

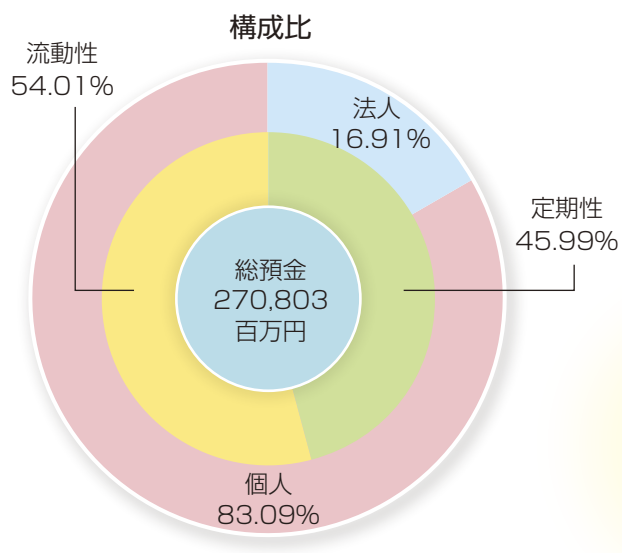


金融機関の健全性を示す代表的な指標に「自己資本比率」があります。

預金の状況（令和1年9月末）

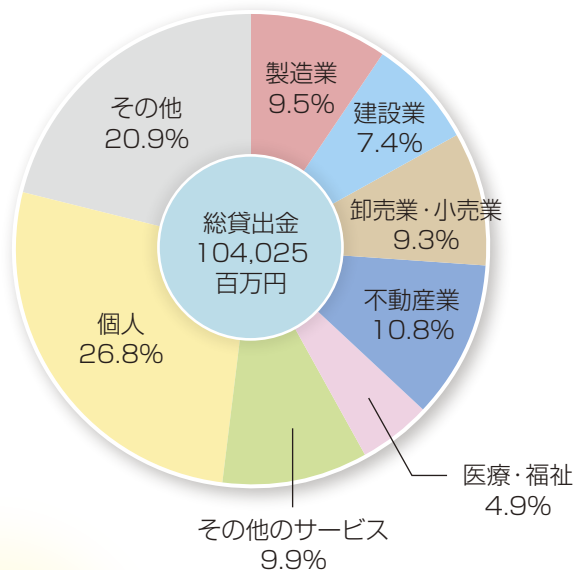
（単位：百万円）

種 類	金 額
法 人	45,789
個 人	225,014
定 期 性	124,534
流 動 性	146,270



貸出金の状況（令和1年9月末）

構成比



預金と貸出金の
状況円グラフに
なります。

貸出金の業種別内訳

（単位：百万円）

業種区分	平成31年3月末	令和1年9月末
製造業	10,434	9,933
農業、林業	288	274
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	1,499	1,445
建設業	8,223	7,769
電気・ガス・熱供給・水道業	610	680
情報通信業	66	54
運輸業、郵便業	3,173	3,018
卸売業、小売業	8,976	9,776
金融業、保険業	5,261	4,904
不動産業	10,192	11,312
物品賃貸業	92	67
学術研究、専門・技術サービス業	49	47
宿泊業	431	881
飲食業	1,206	1,145
生活関連サービス業、娯楽業	551	689
教育、学習支援業	440	604
医療・福祉	5,382	5,177
その他のサービス	10,194	10,380
国・地方公共団体等	7,923	7,942
個 人	27,481	27,918
合 計	102,480	104,025

（注）業種区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

■ 有価証券の時価情報

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	種 類	平成31年3月末			令和1年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	1,001	1,055	53	1,001	1,081	80
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	1,100	1,129	29	600	642	42
	小 計	2,101	2,184	82	1,601	1,724	122
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	4,715	4,640	△74
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	1,000	943	△56	1,000	953	△46
	小 計	1,000	943	△56	5,715	5,594	△121
合 計		3,101	3,127	26	7,316	7,318	1

(注) 時価は、月末日における市場価格等に基づいております。
上記「その他」は、外国証券です。

その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	種 類	平成31年3月末			令和1年9月末		
		貸借対照表計上額	償却原価	差 額	貸借対照表計上額	償却原価	差 額
貸借対照表計上額が償却原価を超えるもの	株 式	60	47	13	396	360	35
	債 券	8,866	8,707	158	10,087	9,918	168
	国 債	254	251	3	877	865	11
	地 方 債	6,173	6,065	107	6,553	6,463	89
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社 債	2,439	2,391	48	2,657	2,589	68
	そ の 他	5,152	4,905	246	4,434	4,251	183
	小 計	14,079	13,661	418	14,918	14,530	387
貸借対照表計上額が償却原価を超えないもの	株 式	—	—	—	134	138	△4
	債 券	652	653	△0	1,993	2,008	△14
	国 債	—	—	—	917	927	△9
	地 方 債	352	353	△0	672	674	△2
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社 債	300	300	—	403	405	△2
	そ の 他	8,442	9,619	△1,177	9,601	10,913	△1,331
	小 計	9,094	10,272	△1,177	11,730	13,060	△1,330
合 計		23,174	23,933	△759	26,648	27,591	△942

(注) 貸借対照表計上額は、月末日における市場価格等に基づいております。
上記「その他」は、外国証券及び投資信託です。

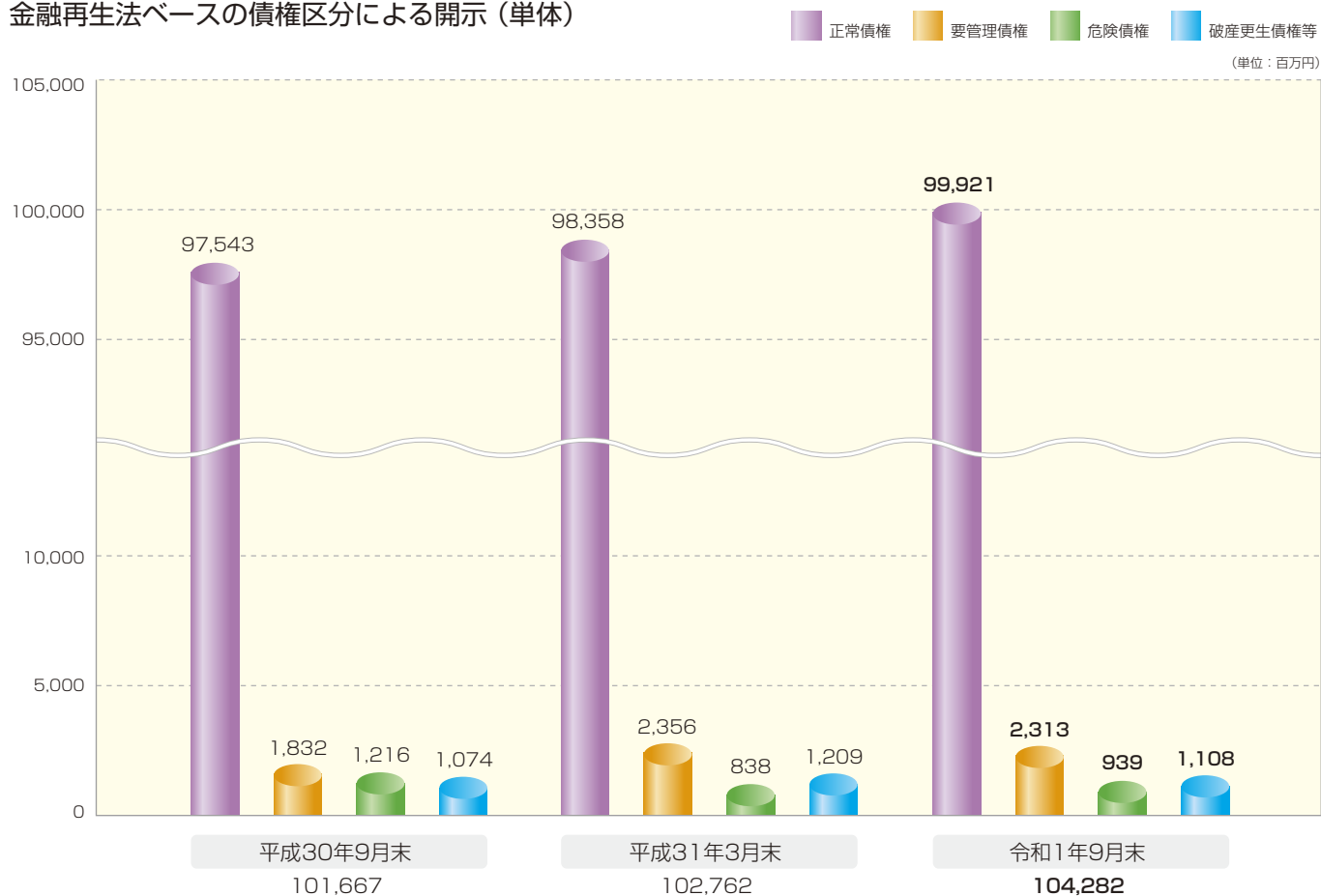
時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の貸借対照表計上額

(単位：百万円)

区 分	平成31年3月末	令和1年9月末
非 上 場 株 式	85	85
そ の 他 の 証 券	13	13
合 計	98	98

金融再生法開示債権の状況等

金融再生法ベースの債権区分による開示（単体）



- （注）1. 上記の令和元年9月末の金融再生法ベースの債権区分による情報開示にあたっては、信用金庫業界による「半期情報開示における基本的考え方」に沿い、簡便的自己査定に基づいた金額を開示致しております。
2. 令和元年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、倒産、不渡り等客観的な事実の生じた債務者並びに同年3月末時点における債務者区分を、当庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映しております。
3. 令和元年9月末の「要管理債権」の金額は、当庫の定める自己査定基準に基づき見直しを行い、3ヵ月以上延滞となった債権、貸出条件を緩和したと認識している債権を反映しております。

不良債権比率（金融再生法）

（単位：％）

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和1年9月末
不良債権比率	4.05	4.28	4.18

とちしんでは、資産の健全化を図るため、
厳格な自己査定を行うとともに、事業再生や経営支援に積極的に取り組み、
不良債権の新規発生防止に努めております。



ビジネスパートナーグループの取組み

地域金融機関との広域連携

当金庫取引先企業の販路拡大を支援するため、近隣の信用金庫が主催するビジネスフェア・商談会に参加しました。

「とちしん」では、今後も県内外の展示・商談会に参加することで地域企業を応援します。



城南信用金庫「よい仕事おこしフェア」



ビジネスパートナーグループは「お客さまの抱える課題をお客さまと一緒に解決すること」を最重点項目としています。

とちしんどリームマッチング

(認定特非)経営支援NPOクラブと連携し、販路拡大支援企画を実施しております。経営支援NPOクラブには、大手企業のOBが多数所属しており、その人的ネットワークを駆使した販路拡大支援を強みとしております。

当金庫お取引先さまの製品・技術を首都圏の大手企業へビジネスマッチングの橋渡しをする企画で、第4回目となる「とちしんどリームマッチング2019」には、販路拡大に意欲的な26社から応募があり、NPOクラブ内の専門別審査を通過した最終5社が大手企業との商談成立に向けて、目下取組んでおります。



事業再生・経営支援への積極的な取組み

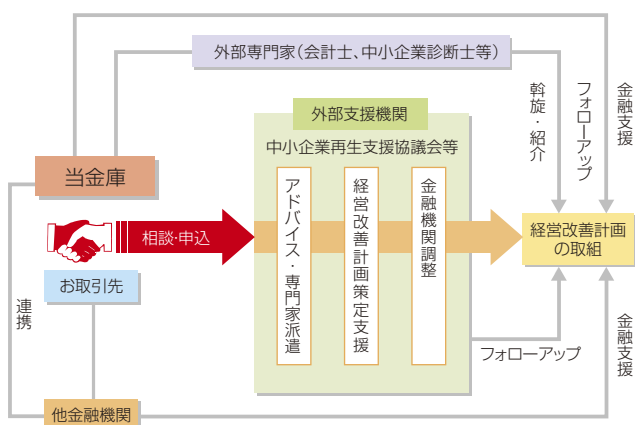
地域中小企業の経営改善支援に取り組んでいます

当金庫では、リスク管理部内に「経営強化支援グループ」を設置し、栃木県再生支援協議会等の外部支援機関や官民ファンドであるとちぎネットワークファンド、各専門家とのネットワークを活かしながら、地域中小企業の経営改善・事業再生支援に積極的に取り組んでいます。

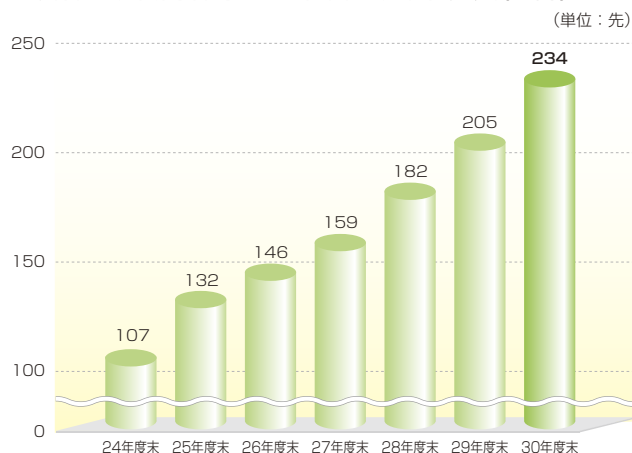
活用事例は、経営改善計画書の策定支援の他、工場の採算性や在庫削減の取組み支援、労務対策、営業支援等の問題解決に向けて対応しています。

事業性評価に基づく取組みにより中小企業者の皆さまの多様化・複雑化する経営課題を解決するためコンサルティング機能の一層の発揮に努め、地域密着型金融の取組みをさらに強化しております。

■外部支援機関を活用した経営支援イメージ



■外部支援機関活用による経営支援取組先数(累計)



このたびの台風19号により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
皆さまの安全と一日も早く復旧されますようお祈り申し上げます。

当金庫においても思川支店、駅前支店、西支店が浸水被害を受けました。

2019年10月12日から13日未明にかけて台風19号の影響による河川氾濫により、思川支店、駅前支店、西支店の3店舗が浸水の被害を受けました。駅前支店については、10月15日より営業を行うことができましたが、思川支店、西支店の2店舗においては、営業を休止せざるを得ない状況となりました。懸命な復旧作業の結果、10月21日に思川支店、10月25日に西支店の営業を再開することができました。いまだ、被災地域の随所では、災害の爪あとがみられますが、1日も早い復興に向け役職員が一丸となり取組んでいく所存です。



栃木市
出身

孤高の画家「田中一村」の作品を 採用したカレンダーをシリーズ化

栃木信用金庫では地域活性化の一環として、田中一村の作品をカレンダーに採用し、栃木市民のみならず近隣の市民にも広く田中一村を紹介いたします。

第1弾の2020年版は、日本画の美術団体の一つである青龍社展（1947年・第19回）に初入選し、一村と改名した記念すべき作品「白い花」を採用したカレンダーを作成しました。カレンダーの「白い花」は田中一村著作権管理を委任されている株式会社NHK出版の利用許諾を得ての作成です。



2020
年版

とちしん健康経営宣言

栃木信用金庫は役職員とそのご家族が心身ともに健康であるために健康維持・増進に全力で取組み、健全な職場環境づくりを目指していくことをここに宣言します。



- 一、ワークライフバランスを促進します
- 二、「運動」や「健康づくり」をサポートする環境を整えます
- 三、心身の健康をチェックする態勢を整えます

健康経営の取組内容

- (1) 働きやすい環境づくり
 - ・有給休暇取得の推進(連続休暇・アニバーサリー休暇・リフレッシュ休暇・半日休暇の取得)
 - ・とちしんプレミアムフライデー(毎月第2金曜日)の実施
 - ・毎週水曜日「ノー残業デー」の励行
- (2) からだの健康づくり
 - ・特定保健指導の取組強化
 - ・部活・ウォーキングキャンペーンなど運動機会の提供
 - ・受動喫煙対策の取組み
- (3) こころの健康づくり
 - ・全事業所におけるストレスチェックの実施
 - ・心の相談窓口ダイヤル「健康・こころのオンライン」の設置